

事務事業名	健康増進施設真岡井頭温泉利用助成事業			担当	健康福祉部 福祉課 高齢者福祉係			
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8195		
施策名	5	高齢者の自立と社会参加の支援			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	真岡市健康増進施設真岡井頭温泉利用助成事業実施要綱				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成8 年度～）			
予算科目	1. 一般会計	3. 民生費	1. 社会福祉費	3. 老人福祉費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	<p>・真岡市に住所を有する70歳以上の高齢者、老人クラブ会員及び介護手当受給者に対し、真岡井頭温泉の利用料の一部を助成(招待券を交付)することにより、温泉利用の促進を図るとともに、高齢者等の健康増進と生きがいづくりに寄与することを目的に実施している。</p> <p>・70歳以上の高齢者 一人当たり年12枚(月1枚)</p> <p>・老人クラブ会員 クラブ単位で一人当たり年2枚</p> <p>・介護手当受給者 一人当たり年6枚(2か月に1枚)</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
24年度実績 ・70歳以上の高齢者 4月末現在で70歳以上の全員に対し、3月中に個別に通知(申請書を同封)し、4月第1週に各地区に出向いて集中的に招待券を交付する。5月以降に70歳以上になる高齢者については、誕生月の初日から随時受付・交付を行う。 ・老人クラブ会員 あらかじめ利用日を定め、老人クラブ会長に参加者の取りまとめを依頼し、招待券を交付する。 ・介護手当受給者 3月中に個別に通知(申請書を同封)し、4月から随時受付・交付を行う。		名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
25年度計画 平成24年度と同じ		ア:70歳以上高齢者申請者数	人	7,141	7,425	7,294	7,455	7,500
		イ:老人クラブ申請者数	人	1,101	1,986	1,946	1,830	1,800
		ウ:介護手当受給者申請者数	人	169	210	349	186	200
		エ:交付枚数	枚	87,300	89,746	87,183	89,070	89,300
		オ:						
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
70歳以上の高齢者、老人クラブ会員及び介護手当受給者		名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア:70歳以上高齢者数(年度末)	人	11,641	11,895	12,048	12,211	12,300
		イ:老人クラブ会員数(年度末)	人	3,717	3,426	3,261	3,141	2,893
		ウ:介護手当受給者数(年度末)	人	361	397	349	353	360
		エ:						
		オ:						
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移						
温泉を利用することで、高齢者等の健康増進を図る。		名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア:利用枚数	枚	41,724	39,312	44,574	46,918	47,000
		イ:						
		ウ:						
		エ:						
		オ:						
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか)		⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移						
高齢者等の健康増進、生きがいづくり及び積極的な社会参加の促進を図る。		名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
		ア:利用枚数/交付枚数(70歳以上)	%		43.4	50.2	51.6	52.0
		イ:利用枚数/交付枚数(老人クラブ)	%		64.8	100	100	100
		ウ:利用枚数/交付枚数(介護手当受給者)	%		28.6	31.9	33.4	34.0
		エ:利用枚数/交付枚数(全体)	%	47.8	43.8	51.1	52.7	53.0
		オ:						
(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	16,722	15,411	17,864	18,804	
	事業費計(A)	千円	16,722	15,411	17,864	18,804		
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	480	480	480	480	
		人件費計(B)	千円	1,947	2,049	2,036	2,017	
トータルコスト(A)+(B)		千円	18,669	17,460	19,900	20,821		

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か? いったいどんな経緯で開始されたのか?	平成8年度に、健康の保持・増進、健康づくりの意識の高揚及び市民相互の交流を図るため、健康増進施設真岡井頭温泉の開設に合わせて開始した。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 高齢者等の健康増進、生きがいづくりの促進及び積極的な社会参加を図ることは、市の施策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 高齢者等の健康増進と社会参加の支援は、市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 一定条件を満たす全員が対象のため、適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 該当者には個別に通知し、周知を図っているため、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 高齢者等の健康増進と生きがいづくり支障があるので、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費の主たる部分は温泉の利用料金のため、削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費で事務処理をしているため、削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 一定条件を満たす全員が対象のため、公平、公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							